

【2024年2月14日】
送付枚数 本票含め4枚

報道機関 各位

件名：2月28日、山口大学細胞デザイン医科学研究所 設立記念シンポジウムを開催

山口大学では、最先端のがん免疫療法やゲノム編集技術による遺伝子治療の研究開発を推進し、人と伴侶動物の健康寿命の延伸を目指して、2023年10月に細胞デザイン医科学研究所を設立しました。

固形がんにも顕著な奏効を示すPRIME CAR-T細胞療法等、がん免疫療法開発を世界的にリードする玉田耕治教授が所長、犬や猫のがん抗体医薬などのトップレベルの臨床開発を推進する水野拓也教授が副所長を務め、人と伴侶動物が健康で長生きし共生する社会の実現に向けて、人と動物の革新的医療技術の開発を推進しております。

本研究所の設立に際し、皆さまに研究所のビジョンや取組について広く発信することを目的として、以下の通り設立記念シンポジウムを開催することになりましたので、ご案内させていただきます。

つきましては、広くご周知いただきますとともに、取材及び報道等についてご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

【山口大学細胞デザイン医科学研究所設立記念シンポジウム】

- 日時：令和6年2月28日（水） 14:00～18:00
- 場所：ANA クラウンプラザホテル宇部 国際会議場（宇部市相生町8番1号）
及びオンライン開催（ハイブリット方式で行います）
- 参加費：無料
- プログラム：別紙参照
- 後援：山口県、宇部市

●この件に関する詳細は下記までお問い合わせください
山口大学学術研究部ライフサイエンス支援課研究所係
担当：岡本 博明
〒755-8505 宇部市南小串1-1-1
TEL: 0836-85-3065
FAX: 0836-22-2116
E-mail: sh088@yamaguchi-u.ac.jp

発信者 国立大学法人山口大学総務企画部
総務課広報室

〒753-8511 山口市吉田1677-1
TEL: 083-933-5007
FAX: 083-933-5013
E-mail: sh011@yamaguchi-u.ac.jp

Press Release

◆取材申込書◆

【送付状不要】

山口大学総務企画部総務課広報室 行

FAX : 083-933-5013

E-mail : sh011@yamaguchi-u.ac.jp

山口大学細胞デザイン医科学研究所 設立記念シンポジウムの開催について

日時 : 令和6年2月28日(水)

14時00分～18時00分

場所 : ANAクラウンプラザホテル宇部 国際会議場 (宇部市相生町8番1号)

誠に恐れ入りますが、下記にご記入いただき、2月27日(火)までにご連絡願います。

記

貴社名	
ご取材代表者氏名	
ご参加人数	
ご連絡先 (Tel、E-mail 等)	

国立大学法人山口大学

細胞デザイン 医科学研究所

Research Institute for Cell Design Medical Science

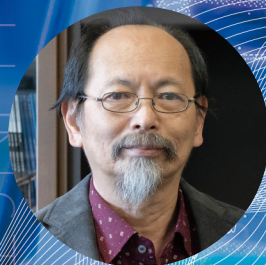
設立記念シンポジウム

令和6年2月28日(水) 14時~18時

会場: ANAクラウンプラザホテル宇部 国際会議場 (オンライン配信あり)
後援: 山口県、宇部市



研究所長 玉田 耕治



京都大学医生物学研究所 所長
再生免疫学分野 教授

河本 宏



PI(3)
広島大学ゲノム編集
イノベーションセンター センター長
大学院統合生命科学研究所 教授

山本 卓



東京医科大学 医学総合研究所
未来医療研究センター
分子細胞治療研究部門 特任教授

落谷 孝広



慶応義塾大学医学部・医学研究科
石井石橋記念講座 (拡張知能医学) 教授

桜田 一洋



国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
研究開発戦略センター (CRDS)
ライフサイエンス・臨床医学ユニット フェロー

辻 真博



アニーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社
パートナー

花村 遼

問い合わせ先 / 山口大学学術研究部ライフサイエンス支援課研究所係
E-mail: sh088@yamaguchi-u.ac.jp TEL: 0836-85-3065

詳細・お申し込みはこちら
<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~celldesign/new/new-2429/>



山口大学は強みである革新的細胞デザイン技術を核とした、次世代の細胞治療、遺伝子治療のシーズを次々と創出する国際研究開発拠点となるべく、2023年10月に細胞デザイン医科学研究所を設立しました。

最先端のがん免疫療法を始めとする難治性疾患治療法の研究開発を推進することにより、多くの患者を治療に導きます。また、世界に先駆けてゲノム編集技術による遺伝病治療を伴侶動物で行い、さらにその成果を人医療にフィードバックする好循環を生むことで、人と伴侶動物の健康寿命の延伸を目指します。

本シンポジウムでは細胞デザイン医科学研究所の概要や取組を発信し、招聘した専門分野の研究者や有識者の講演を通して、人と伴侶動物が共生する社会を実現するために細胞デザイン医科学研究所が果たすべき役割について共有します。

14:00-14:30

開会挨拶

谷澤 幸生 山口大学 学長

来賓挨拶

柳澤 好治 文部科学省 研究振興局 大学研究基盤整備課長

村岡 嗣政 山口県知事

篠崎 圭二 宇都市長

棕梨 敬介 株式会社山口フィナンシャルグループ 代表取締役社長 CEO

概要説明

玉田 耕治 研究所長

14:30-15:00

[座長] 玉田 耕治 研究所長、先進細胞治療研究部門長

『iPS細胞を材料とした即納型汎用性T細胞製剤の開発
ーがんおよびウイルス感染症への応用ー』

京都大学医生物学研究所 所長 再生免疫学分野 教授 河本 宏

15:00-15:30

[座長] 宮本 達雄 先進ゲノム編集治療研究部門長

『医学・医療分野におけるゲノム編集技術の展開』

広島大学ゲノム編集イノベーションセンター センター長
大学院統合生命科学研究所 教授 山本 卓

15:50-16:20

[座長] 水野 拓也 医・獣トランスレショナル臨床研究部門長

『エクソソームの医療革命』

東京医科大学 医学総合研究所 未来医療研究センター
分子細胞治療研究部門 特任教授 落谷 孝広

16:20-16:50

[座長] 浅井 義之 システム医学情報研究部門長

『医学のためのAI』

慶応義塾大学医学部・医学研究科
石井石橋記念講座 (拡張知能医学) 教授 桜田 一洋

16:50-17:45

[座長] 玉田 耕治 研究所長

『創業モダリティの現状と展望』

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
研究開発戦略センター (CRDS)
ライフサイエンス・臨床医学ユニット フェロー 辻 真博

『再生・細胞医療・遺伝子治療の
グローバル動向と将来性』

アーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社 パートナー 花村 遼

18:30- 情報交換会 (会費: 3,000円)

河本 宏

京都大学医生物学研究所 所長
再生免疫学分野 教授

1986年京大医学部卒。内科医として3年間研修後、1989年京大病院第一内科大学院伊藤和彦研で遺伝子治療の研究。1994年京大胸部疾患研究所(現医学生研)桂義元研で造血過程およびT細胞分化の研究を開始。2001年京大医学部漢長博研助手。2002年横浜理研免疫センターチームリーダー。2012年京大再生医科学研究所教授、2016年改組によりウイルス・再生医科学研究所教授。2020-2022年藤田医科大学教授を兼務。2022年改称により医生物学研究所教授、同所長。

山本 卓

広島大学ゲノム編集
イノベーションセンター センター長
大学院統合生命科学研究所 教授

1989年広島大学理学部卒業。熊本大学助手を経て、2002年広島大学大学院理学研究科講師に着任、2004年から教授を務める。2016年に日本ゲノム編集学会を立ち上げ(会長)、2019年より広島大学ゲノム編集イノベーションセンター長を務める。2021年よりJST共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT:本格型)「Bio-Digital Transformation(パイオDX)産学共創拠点」のプロジェクトリーダーとして、多様な分野におけるゲノム編集技術の社会実装を展開している。

落谷 孝広

東京医科大学 医学総合研究所
未来医療研究センター
分子細胞治療研究部門 特任教授

2018年まで国立がん研究センター研究所で分野長を務め、定年後は東京医科大学で教授に就任。2023年より同、未来医療研究センター特任教授。ノンコーディングRNAや細胞外小胞であるエクソソームの診断治療の研究に従事。日本細胞小胞学会の理事長やエクソソームの国際組織であるISEVの役員を務める。2019年から連続で、Web of Scienceの発表する高被引用論文研究者(highly cited researcher)に選ばれている。

桜田 一洋

慶応義塾大学医学部・医学研究科
石井石橋記念講座 (拡張知能医学) 教授

大阪大学大学院理学研究科修士課程修了。協和発酵(株)東京研究所研究員、京都大学医学部で研究生を務め、1993年理学博士(大阪大学)を授与。Salk研究所客員研究員、協和発酵(株)主任研究員を経て、日本シエーリングリサーチセンターのセンター長に着任。Bayerドイツ本社のSVP兼バイエル薬品の執行役員リサーチセンター長を務めた後、米国でZumi Bio社を立ち上げ、CSOとしてバイエル薬品で開発したヒトiPS細胞技術を移管。2008年ソーニーコンピューターサイエンス研究所上席研究員、2016年からは理化学研究所 医科学イノベーション推進プログラム 副プログラムディレクターとして健康医療領域の予測の科学を開拓。2021年4月より理化学研究所 先端データサイエンスプロジェクトのプロジェクトリーダー。同年10月より現職。著書に『亜種の起源 苦しめば波のように』幻冬舎(2020年)

辻 真博

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
研究開発戦略センター (CRDS)
ライフサイエンス・臨床医学ユニット フェロー

2004年東京大学農学部を卒業、科学技術振興機構(JST)へ入構、同機構研究開発戦略センター(CRDS)ライフサイエンス臨床医学ユニットに所属、現在に至る。ライフサイエンスおよびメディカル関連の基礎研究、バイオテクノロジー、医薬品・モダリティ開発、データ基盤、研究環境整備など様々なテーマを対象とした調査、主に政府向けの研究開発戦略提言を実施。

花村 遼

アーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社
パートナー

ADLのグローバル・ヘルスケア・ライフサイエンスプラクティスのコアメンバー。製薬・医療機器、食品・飲料・消費財業界のクライアントに対し、戦略コンサルティングを提供。先端技術の評価やイノベーションマネジメントにおいて、豊富なコンサルティング経験を有する。再生医療・遺伝子治療、パイオ領域において経済産業省・AMEDの関連委員も複数務める。

水野 拓也

山口大学
共同獣医学部臨床獣医学講座 教授

1972年生まれ(三重県出身)。東京大学農学部獣医学科卒業後、同大学院農学生命科学研究科へ進学。日本学術振興会特別研究員(DC4)を経て、ポストン大学医学部免疫生物学博士研究員、東京理科大学生命科学研究科博士研究員を経て、山口大学農学部助教授、教授、2013年より現職。2022年日本獣医学賞受賞。

宮本 達雄

山口大学大学院 医学系研究科 分子細胞生理学講座 教授

1978年生まれ(山口県出身)。京都大学大学院医学系研究科修了後、広島大学原爆放射線医科学研究所助教、講師、准教授を経て、2021年より現職。広島大学ゲノム編集イノベーションセンターおよび広島大学原爆放射線医科学研究所客員教授兼任。

玉田 耕治

山口大学大学院 医学系研究科免疫学講座 教授

1968年生まれ(宮崎県出身)。九州大学医学部を卒業後、医学博士を取得。その後米国のメイヨークリニック免疫学にて研鑽を積み、ジョンズホプキンス大学にてアシスタントプロフェッサー、メリーランド州立大学がんセンターにてがん免疫治療プログラムの基礎研究部門リーダーを務めた。2011年より現職。

浅井 義之

山口大学大学院医学系研究科
システムバイオインフォマティクス講座 教授

1975年生まれ(奈良県出身)。AIシステム医学・医療センターセンター長。大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程修了後、イタリア・Fondazione ISI、スイス・ローザンヌ大学にて研鑽を積み、産業技術総合研究所人間福祉工学研究部門の研究員、大阪大学臨床工学融合研究教育センター特任准教授、沖縄科学技術大学院大学のグリープリーダーを経て、2016年より現職。